



2020年2月7日

各 位

上場会社名 子ヨダウーテ株式会社
 代表者 代表取締役社長 平田 晴久
 (コード番号 5387)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 種田 貴志
 (TEL 059-364-5215)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月17日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,000	250	300	200	11.59
今回修正予想(B)	29,500	△300	△30	△50	△2.90
増減額(B-A)	△1,500	△550	△330	△250	
増減率(%)	△4.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	30,146	△300	△84	△90	△5.22

修正の理由

2020年3月期の連結業績につきましては、外部環境要因として、貸家を主体に新設住宅着工戸数が前年対比で減少することを想定し、主力石こうボード事業の立て直しに努めてまいりましたが、90万戸台で推移していた新設住宅着工戸数(季節調整済・年率換算値)が、2019年8月以降は80万戸台に落ち込む等、減少幅が期初想定を上回り、住宅部門の販売量は計画を下回る見通しです。一方でこうした厳しい状況も見据えて取り組みを強化している非住宅部門でも、競争が激しく販売数量が低調に推移していることに加え、原料等の仕入れ価格や運送コストの経費増加を吸収すべく予定した昨年秋口以降の販売価格引き上げがなかなか進展しておらず、売上高は計画対比で減収となる見込みです。

販売数量が計画を下回る見込みの下、製造部門では出荷動向に合わせて在庫調整を実施せざるを得ず、作業時間の短縮化を起因とする生産効率の低下を招いていること等で、原価低減の取り組みも十分な効果を上げることが難しく、営業利益、経常利益並びに親会社に帰属する当期純利益を引き下げるものです。

(注)上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上